

第6回 山口市中心市街地活性化協議会(要約)

1. 日 時 平成19年6月4日(月)19:15～20:30
2. 場 所 山口商工会議所5階コミュニティホール
3. 出席者 構成員14名、オブザーバー2名、その他6名、事務局4名 以上26名
4. 内 容

はじめに中野会長より、5月28日付けで山口市中心市街地活性化基本計画(以下「基本計画」)が国の本部より認定を受けた旨報告した。

【報告事項】

1. 山口市中心市街地活性化基本計画の認定について

山口市中心市街地活性化推進室より、資料に基づき説明。基本計画のなかで、協議会で協議したものから大きく変わった主な点としては、①恵まれた自然、歴史や芸術文化に彩られた美しいまち(8頁)という文言を山口市の特徴として入れた。②商業活性化のための事業のなかで、既に活用する補助メニューが決まっているもの、予定のあるものについては明記した。③どうもんビル再生事業については、どうもんパーク(仮称)事業に名称を変更した。

2. 地域再生マネージャー事業の実施について

山口市中心市街地活性化推進室より、山口市が実施を検討している地域再生マネージャー事業の内容について資料に基づき説明。

地域再生マネージャー事業は、地域再生のために、計画を作成するだけではなく、事業を実施するまでの専門家を導入する事業である。タウンマネージャーと性格は似ているが、基本計画とは連動していない。十分考慮して各事業の実施を目指す。この事業は山口市が主体となるので今後検討したい。

【協議事項】

1. 専門部会設置(案)について

事務局より、前回の会議を考慮しての専門部会の設置(案)について資料に基づき説明。

連携の仕方としては、既に同じテーマで協議している団体がある場合には、その団体の代表を招聘し、専門部会のなかで協議できればと思う。山口市が今後「中心市街地情報提供事業委員会」、「まちと文化推進事業委員会」の2つの委員会を設置するが、当該委員会に当協議会から委員に参加してもらう形で連携をとりたい。

①河村邸、借り上げ住宅、どうもんビル等平成19年度実施事業については計画通り進んでいる。アルビ跡地、山口銀行山口支店跡地については、今年度中に前裁きが必要であり、各専門部会で早急に取り組んでもらいたい。

②第2専門部会のテーマについては、狭隘道路の解消が目的ではなく、基本計画の指標として掲げている人口増加＝街なかへの居住促進を図ることを目的とし、幅広く協議してもらいたい。

③平成19年度に着手する事業は多くある。事業主体を当該協議会が支援していく必要がある。第3専門部会の内容(事業)について、時系列で説明してもらいたい。

④3つの専門部会の内容が固まってから開催するのではなく、取り敢えず時間的にも余裕はないので専門部会をスタートして実施しながら調整していくのはどうか。

⑤第2専門部会には住民意見を取り入れてもらいたいので、自治会長等に参画してもらいたい。

⑥中心市街地だけではなく、山口市全体が良くなるよう、当該協議会で事業案を提出してもらい協議する必要がある。実施リミットは4年半であるので、ある程度実施時期が分かるなら時系列で示してもらいたい。

⑦各事業の責任者を明確にする必要がある。ソフト的なことだが、基本計画エリア内もしくはエリア周辺の施設で実施される大規模な会議・イベント等がある際にまち全体が情報を共有できるようなシステムがあれば良いと思う。

⑧(有)どうもんとしては、平成20年度に市の借り上げ住宅制度の活用を検討したい。

会長より、当面3つの専門部会を設置し、専門部会の構成メンバーについては事務局から提案してもらうことについて議場に諮ったところ承認された。

※事務局より、野田学園が基本計画エリアから外れたことを受け協議会構成団体から脱退する申し出があったこと、NPO 法人山口まちづくりセンターの徳田センター長から内山副センター長に構成委員を変更したことを報告。

以上